

都市再生整備計画 事後評価シート
JR和泉府中駅周辺地区(2期)

平成30年2月

大阪府和泉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	和泉市		地区名	JR和泉府中駅周辺地区(2期)			面積	14.8ha	
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	最終:244.2百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路:和泉府中駅西線・和泉府中北通り線 地域生活基盤施設:和泉府中駅西線 高次都市施設:観光情報ステーション								
			提案事業	地域創造支援事業:観光情報ステーション(太陽光発電)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-		-		削除/追加の理由			-	
			提案事業	地域創造支援事業:観光情報ステーション(太陽光発電)		-		設置手法を民間主導に変更したため			影響なし	
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設:和泉府中北通り線・和泉府中駅前広場		-		地区目標を達成するために事業を追加			影響なし	
提案事業			まちづくり活動推進事業:観光情報ステーション(集客イベント)		-		地区目標を達成するために事業を追加			影響なし		
交付期間の変更		当初	平成25年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし					
		変更	平成25年度～平成29年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	評価値	目標達成度	目標達成の見込み・時期	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
	指標1	和泉府中駅周辺が利用しやすいと感じる市民の割合	%	23.0	H24	80.0	H29	65.6	H29	△	あり ○ H33年度	平成33年7月
	指標2	観光情報ステーションの来館者数	人	4,461	H23	5,385	H29	12,180	H29	○	あり なし	
指標		単位	従前値	目標値	評価値	目標達成度	目標達成の見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	和泉府中駅周辺の交通事故発生件数	件	25	H26	/	13	H29	/	/	・和泉府中駅周辺の交通事故発生件数については、交付期間の初年度(H25年度)のデータの入手が不可であり、H26年度以降のデータでの評価となるが、都市再生整備計画の目標及び指標1を補足するものであると考えられる。 ・交通事故発生件数は周辺の整備により、交通安全性の向上が図られ、減少している。	-
	その他の数値指標2	和泉府中駅周辺地区でのイベント実施回数	回	0	H24	/	6	H29	/	/	・観光情報ステーション(いずみの国観光おもてなし処)の移転や駅周辺の基盤整備により、道路空間などを利用したイベントが実施され、地域の活性化が図られている。	-
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場や道路整備などの都市基盤整備が一定完了した後、イベント活動などを通じて人の賑わいも増えている。 和泉府中駅前に新築移転した、観光情報ステーション(いずみの国観光おもてなし処)に立ち寄ることで、南部地域の観光情報などや和泉市域全体の情報を入手することが可能となっており、全市域にネットする玄関口としての機能が発現しており、効果的な広報が可能となっている。 											
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	住民参加のプロセス 持続的なまちづくり体制の構築		なし				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 				<ul style="list-style-type: none"> 指標1・2及びその他の数値指標について継続的に数値を把握し、事業の効果を確認する。 観光情報ステーション(いずみの国観光おもてなし処)で開催されているイベントの継続的な支援及び活動記録を発信する。 音楽祭やイルミネーションなどのイベント活動を継続的にいけるよう支援を行い、地域の活力の向上に寄与していく。 桃山学院大学を始めとした各種団体との連携事業の継続および拡充。 その他、賑わいや住民参加が可能なイベントなどの創出・企画を行う。 	

様式2-2 地区の概要

JR和泉府中駅周辺地区(2期)(大阪府和泉市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 安全で快適な和泉市の玄関としてふさわしい地区へと再構築を図る 目標1 都市基盤施設である道路の築造・改築することにより、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る。 目標2 施設更新する観光情報ステーションを情報発信源とし、地域の文化、交流活動を促進するまちづくりを進める。	和泉府中駅周辺が利用しやすいと感じる市民の割合	単位: %	23.0 H24	80.0 H29	65.6 H29
	観光情報ステーションの来館者数	単位: 人	4,461 H23	5,385 H29	12,180 H29

基幹事業



道路事業
和泉府中駅西線



道路事業
和泉府中北通り線



高質空間形成施設
和泉府中駅前広場



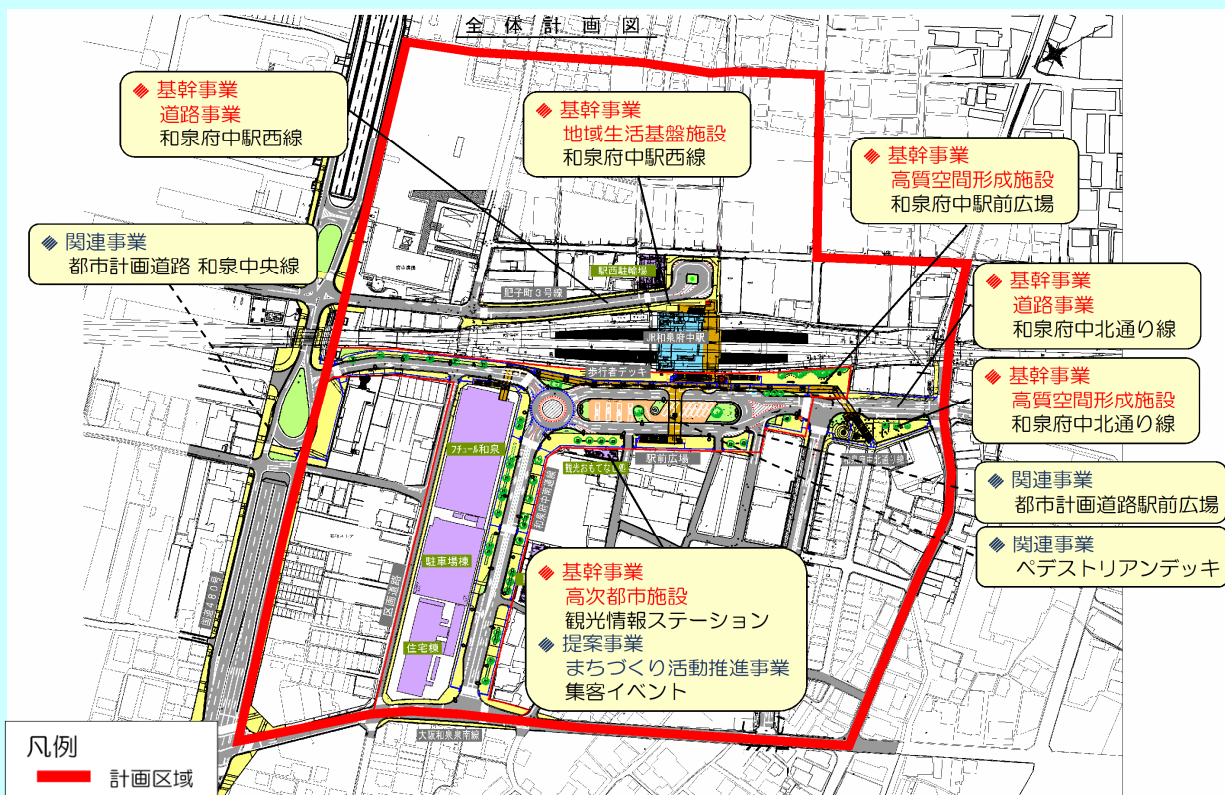
高質空間形成施設
和泉府中北通り線



高次都市施設
観光情報ステーション



地域生活基盤施設
和泉府中駅西線



提案事業・イベント関連



まちづくり活動推進事業(集客イベント)
観光情報ステーション(いずみの国観光おもてなし処)



いずみ音楽祭



和泉府中駅前
イルミネーション

【まちの課題の変化】

○活力ある商業・業務活動、文化、交流活動の基盤となるまちづくりが課題であったが、和泉府中北通り線のような高質空間が整備され、道路空間を活用したイベントなどの地域活動が地元商店街等により実施されており、地域の活性化が図られている。また、観光情報ステーション(いずみの国観光おもてなし処)を活用したイベント活動等も積極的に実施されており、周辺地区ににぎわいを創出する体制・基盤は整ってきているが、周辺商店街を初めとした和泉府中駅周辺地区の更なる活性化が求められている。

○歩行者ネットワークの整備により回遊性の向上を図り、和泉府中駅周辺地区一体に賑わいの創出が課題であったが、道路などの整備により交通利便性は向上し、当該地区内の居住者も増加している。今後は、当該整備計画区域内だけでなく、その周辺地区についても広域的な都市空間の質(交通利便性、快適性、安全性)の向上が求められている。

【今後のまちづくりの方策(改善策含む)】

○今後も、観光情報ステーション(いずみの国観光おもてなし処)など、これまで行われてきた基盤整備を活用したイベント活動を継続的に開催できるよう支援を行う。また、周辺商店街を地域の情報発信の拠点とするなど、地域の特色を活かした賑わいある和泉府中駅周辺地区の更なる活性化に努める。また、引き続き、当該整備計画区域内において、歩道のバリアフリー化などの事業を実施し、歩行者の安全性および快適性の向上を図って行く。

○今後も、当該整備計画区域内だけでなく、その周辺地区について、広域的に都市空間の質(交通利便性、快適性、安全性)の向上を図るため、継続的に整備を行う。